

舟形町のお財布事情を  
めがみちゃんが熱血指導♪



# 令和2年度決算報告

めがみちゃんは今日も舟形町のために大忙し。今日は町議会9月定例会で承認された令和2年度決算について、町のみなさまに説明するお仕事です。実際にどのように町のお金が使われているのかをめがみちゃんに教えてもらいましょう。

## 教えてめがみちゃん

### その① 令和2年度決算は黒字？赤字？



ズバリ黒字だミン♪令和元年度と比較すると、歳入が9億8,022万円、歳出が9億302万円増加したミン。福祉避難所「てとて」の整備や新型コロナウイルス対策事業を行なったことが増加のきっかけになったミン♪詳しいデータについては下の「データでみる舟形町のお財布事情」に掲載しているミン♪

**【歳入】 69億4,414万円**  
**—【歳出】 66億5,676万円**  
**2億8,738万円**



## 一般会計

令和2年度一般会計に入ってきたお金(歳入)は、69億4,414万円。そこから使ったお金(歳出)は66億5,676万円でした。差し引き2億8,738万円となり、令和2年度決算は黒字となりました。

令和2年度は、平成30年8月豪雨災害を教訓に、防災力強化や要配慮者の安全安心な避難場所を確保するため、防災センターおよび福祉避難所「てとて」の建築工事を実施しました。建築工事にかかる歳出額は、防災センターが2億6,851万円、福祉避難所「てとて」が7億8,579万円、それぞれ国の補助金も活用しながら工事を行いました。



※防災センター(写真上)と福祉避難所として(写真下)

## 教えてめがみちゃん

### その② どんなことにお金を使ってるの？



こんなことに使っているミン♪  
(※右の説明参照)  
みなさんの安全安心な暮らしのために、行政の維持・福祉の充実・産業振興・自然環境の保持・災害への対策・教育の向上等のお金が必要なんだミン♪

- 議会費…議員の報酬などの経費
- 総務費…行政全般の運営管理などの事務経費
- 民生費…障がい者や高齢者、子育てなどの福祉にかかる経費
- 衛生費…保健や環境・衛生の向上にかかる経費
- 農林水産業費…農林水産業の振興・管理や整備にかかる経費
- 商工費…工業や商業、観光の振興にかかる経費
- 土木費…道路や橋、町営住宅などの整備にかかる経費
- 消防費…消防や防災にかかる経費
- 教育費…小中学校や生涯学習、体育活動などにかかる経費
- 災害復旧費…災害被害の復旧にかかる経費
- 公債費…町債(町の借金)の返済のための経費

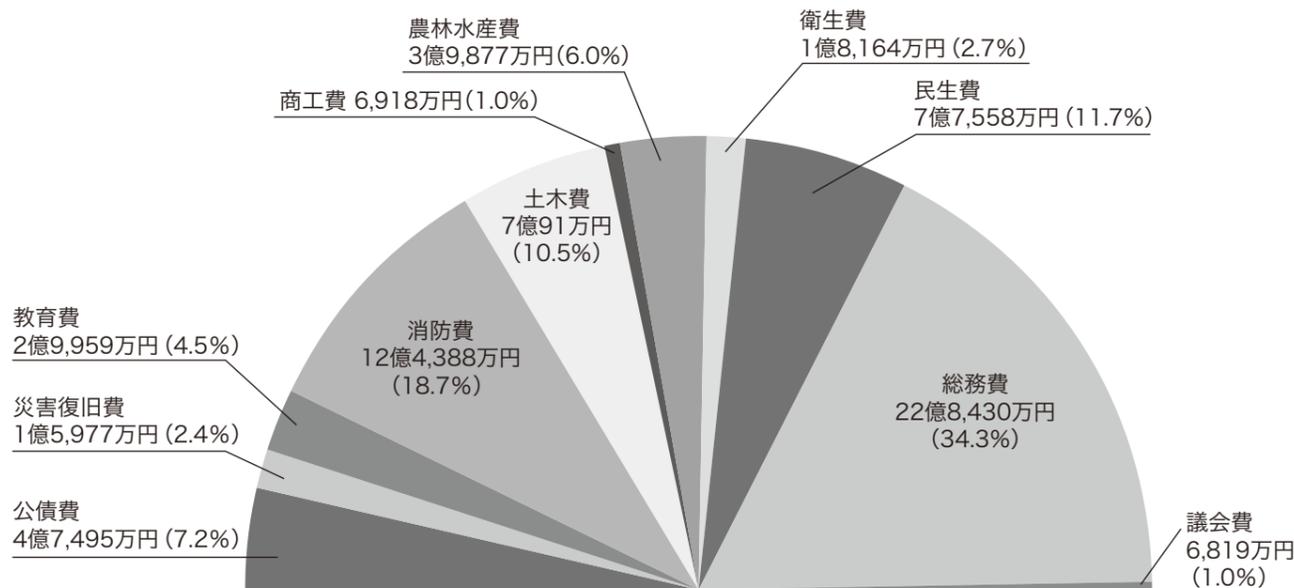
## 会計区分について

町では、みなさんから納めていただいた大切な税金や地方交付税などを、無駄なく効率的に使用するために、出入りするお金を7つの会計に振り分け管理しています。  
通常出入りするお金は「一般会計」、公共料金や保険料などの特定の収入を特定の目的のために使うお金は「特別会計」、地方公営企業法の適用を受けて経営している水道事業の収支については「企業会計」として区分しています。今後もその事業ごとに適正な利用料等を設定し、健全に運営していくことが求められます。

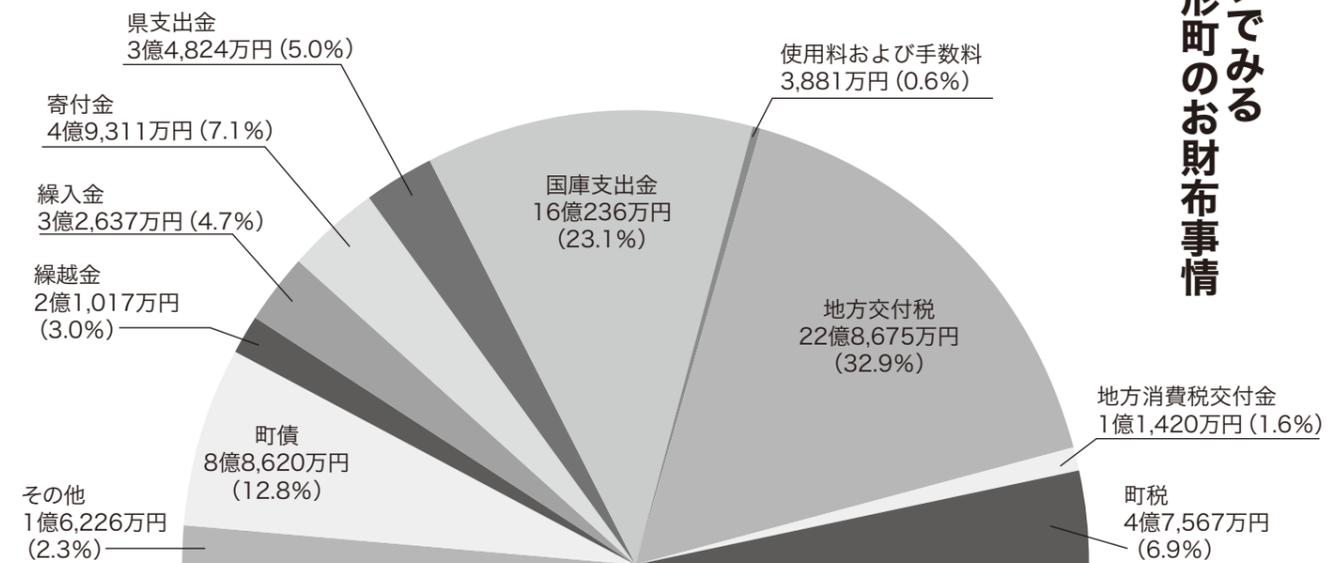
次の表は令和2年度「特別会計」と「企業会計」の歳入・歳出額です。

区分	事業	歳入	歳出
特別会計	国民健康保険事業	6億1,973万円	5億8,572万円
	後期高齢者医療事業	7,200万円	6,991万円
	介護保険事業	7億4,729万円	7億1,975万円
	農業集落排水事業	2億5,698万円	2億5,426万円
	公共下水道事業	1億8,935万円	1億8,497万円
企業会計	水道事業	収益的収支	2億 81万円 / 1億9,787万円
		資本的収支	4,457万円 / 8,903万円

## 一般会計歳出 (66億5,676万円)



## 一般会計歳入 (69億4,414万円)



## データでみる 舟形町のお財布事情

# 町の財政状況

令和2年度決算における、町の財政状況を表す指標は次のとおりとなりました。  
 ※標準財政規模…地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常一般財源の規模を示す指標で、財政分析や財政運営の指標算出などに利用されます。

## 実質公債費比率

町の借金の返済額の大きさを、財政規模に対する割合で示した指標です。「第7次舟形町総合発展計画」では、令和6年度末の実質公債費比率を16%未満に抑制するという数値目標を設定しています。

なお、現状は前年度から0.3%増加し13.4%となりましたが、町債の発行に制限がかかる国の基準を下回っており、健全な財政状況です。

年度	算定数値
令和元年度	13.1%
令和2年度	13.4%

町債発行許可制……18%  
 早期健全化基準……25%  
 財政再生基準……35%



## 将来負担比率

町の借金など町が現在抱えている負債の大きさを、財政規模に対する割合で示した指標です。

令和2年度は前年度から、26.2%減少の1.4%となりました。これは、町の借金はあるものの、その返済に対し国の支援(地方交付税として)を受けられることを意味します。町では、この支援割合が高い町債や、国・県の補助制度など、町の財政に有利な制度を活用し各事業に取り組んでいます。

年度	将来負担比率
令和元年度	27.6%
令和2年度	1.4%

早期健全化基準……350%



## 経常収支比率

人件費や公債費などの経常的な経費に、町税や普通交付税などの経常一般財源がどの程度使われているかを示した指標です。比率が高いほど柔軟な財政対応ができず、町独自事業にお金をかけられなくなります。

町の比率は、前年度から0.6%増加し、88.5%となりましたが、県平均92.4%を下回っています。

年度	経常収支比率
令和元年度	87.9%
令和2年度	88.5%



## 町の監査委員から意見

代表監査委員 齊藤 徹

- ① 持続可能な財政基盤の確立に向けて  
 県内市町村第1位という高い水準にある町税収納率を堅持し、自主財源の拡充に各段の努力をお願いしたい。
- ② 人材育成について  
 平成30年8月豪雨時の教訓を踏まえ、防災拠点施設及び福祉避難所の建設に係る財政投資により、災害時における二つの大きな懸念が解消した。また、国の施策にある「国土強靱化の推進」や「デジタル化」に素早く対応し、各推進室を新設した実績を踏まえ、引き続き積極的な町政運営を推進されたい。

第7次総合発展計画における「考える職員」「説明できる職員」の育成については、新型コロナウイルス感染症対策の一環として多くの研修が中止となる中、外部講師だけでなく内部講師による町独自研修を開催したことを高く評価したい。

## まとめ

令和2年度決算は黒字であり、すべての財政指標が国の基準内であることから、健全な財政状況と言えます。将来を見据え、収入と貯金を確保しながら、町の負担をできる限り抑えていく必要があります。その中で、町として必要不可欠な事業については、町民のみならずと一緒に考え、計画的に実行することで、「第7次町総合発展計画」で掲げる『住んでいる人が誇れるまちづくり』『わくわく未来ふながた』の実現に努めていきます。

## 基金について

基金とは、いわゆる町の貯金のことを言います。町では、条例に基づき、特定の目的のために基金を設置しております。基金には、決算時の剰余金やいたいた寄附金などを積み立てており、基金の目的に合わせて取り崩しながら様々な事業を行っております。基金を設置していることで、平成30年8月豪雨のような大規模災害などの不測の事態が発生した場合でも、迅速な復旧作業が可能となります。

## 教えてゆかみ その③ 町は貯金していないの？ 災害などが起きたらどうするの？

「基金」という町の貯金があるんだミン♪災害に備えるためや、スポーツ・教育の振興、公共施設の整備のために、必要なときはその貯金をおろしているんだミン♪ふるさと納税なども基金として貯金され、その寄付者の意向に沿った事業に使われるミン♪

## こんな種類の基金があります!!

基金の種類	説明	R2年度末残高(万円)
財政調整基金	年度間の財源調整や大規模災害などの不測の事態が発生した場合に活用する。	5億 62万円
減債基金	町の借金返済に対して活用する。	2億8,519万円
公共施設整備基金	町の公共施設の建設事業や長寿命化などの改修事業を実施する場合に活用する。	6億9,241万円
元気・舟形ふるさとづくり応援基金	ふるさと納税を財源に一時的に積み立て、寄附者の意向に沿った事業に対し活用する。	4億7,909万円
その他の基金合計	その他の特定の目的に使用する11種類の基金の合計	5億9,414万円
基金すべての合計		25億5,147万円

不測の事態に備え貯金を蓄えながらも、みなさんの安全安心で豊かな生活のために有効に活用します。

## 教えてゆかみ その④ 一般会計の中身についてもっと分かりやすく教えて!



〇舟形町を収入400万円の家庭に置き換えると……

令和2年度一般会計決算を家計に置き換えて説明するミン♪

収入は給料や親からの仕送り、借入金などを合せて合計で947万円。支出は生活費や医療費、自宅の増築費などの増加により909万円だミン。差額の38万円は翌年度の収入として繰り越すミン♪貯金を取り崩すことで収入不足を補えたけど、今後給料などの収入の減少が見込まれるから、引き続き支出の節減と収入の確保が必要ミン♪



### 【収入】

給料収入	400万円
町税や地方交付税などみなさんから納められた税金や、町の財源不足に対して国から交付されるお金など	
その他の収入	115万円
使用料・負担金など(町の施設の利用料や、町の事業により特に利便を受ける人が負担するお金など)	
親からの仕送り	266万円
国・県支出金(特定の目的のために、国や県から支給されるお金)	
貯金の取崩し	45万円
繰入金(財政調整基金から受け入れたお金)	
借入金	121万円
町債(町が長期間にわたり返済する借金)	
収入合計	947万円

### 【支出】

食費	90万円
人件費(職員などへ労働の対価、報酬として支払われるお金)	
生活費	272万円
物件費、補助費など(旅費、消耗品費、燃料費、委託料、補助金などにかかるお金)	
医療費	38万円
扶助費(子どもや高齢者、障がいのある方の福祉などに係るお金)	
自宅の修理費・増築費	276万円
維持補修費、建設事業費(町が管理する道路や学校など施設の新設・修繕などにかかるお金)	
子どもへの仕送り	79万円
他会計への繰出金など(一般会計から特別会計へ支出されるお金など)	
借入金の返済	65万円
公債費(町債の元金および利子の支払いにかかるお金)	
貯金	88万円
積立金(財政調整基金に積み立てるお金)	
その他の支出	1万円
支出合計	909万円